



## PTC ソフトウェア製品 ThingWorx 及び Kepware 製品向けライセンス基盤文書

### 本書の対象範囲

本書は、PTC の各 ThingWorx 及び Kepware の許諾製品に関するライセンス基盤及びライセンス制限を定めている。大半の場合、本書はお客様が PTC から許諾を得たソフトウェアの使用に適用される法定文書の一部を構成する（併せて「ライセンス契約」という）。本書と、お客様によるライセンス購入の根拠となった PTC の見積書／製品スケジュール（以下「見積書／製品スケジュール」という。）との間に不一致がある場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。例えば、本書ではある製品がある特定の 방법으로使用許諾されるとされている場合であっても、見積書／製品スケジュールに記載された製品名に異なる使用許諾基準が指定されている場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。PTC は随時本書を更新することができるが、お客様による各購入には、購入時点で有効な本書の最新バージョンが適用されるものとする。

### 共通ライセンス基盤の記述

**「指定コンピューター」 (DC) :** 製品名に「fixed (固定)」「locked (ロック済)」「node-locked (ノード・ロック済)」の文字がある場合、又はすべての Kepware 製品及び KepServerEx 製品には、それらの製品は、当初インストールされた指定コンピューターにおいてのみ操作が許可される。外部デバイス、ポータブルデバイス、又はリムーバブルデバイス (USB ドングル、NAS、ルーター、メモリスティック、USB ドライブ、外部ハードドライブなど) にインストールする方法又は別の方法によって、指定コンピューター製品をあるコンピューターから別のコンピューターに移動することは認められない。

**「指定サーバー」 (DS) :** 各指定サーバー製品は、お客様が当該製品の最初のインストールに関連して指定し、該当するインストール済の製品アプリケーションの特有なインスタンスが 1 つあるコンピューターサーバー上でのみ使用できる。コンピューターサーバーにいかなる方法であれ (物理的、論理的又はそれ以外の) パーティションが設定されている場合、前文における「コンピューターサーバー」への言及は当該サーバーの各パーティションを意味するものとし、当該指定サーバー製品は当該パーティションの 1 つにおいてのみ使用することができる。

**「コア毎」 (PCO) :** コア毎の製品については、該当製品が実行されるシステム内にあるプロセッサのコア毎に、1 つのライセンスが必要となり、該当製品が動作しているオペレーティングシステムによりレポートされる。例えば、あるデバイスがコア毎にライセンスされている PTC ソフトウェアを実行している場合、デバイス毎にマルチコア・プロセッサを 2 つ持っているとする、2 つのコアを持つ各デバイスがすべてソフトウェアを実行することになり、4 つのライセンスが必要となる。同様に、あるデバイスが 3 つのシングルコア・プロセッサを持っており、そのすべてがソフトウェアを実行する場合、3 つのライセンスが必要となる。また、当該製品を実行するオペレーティングシステムが、当該製品を実行するオペレーティングシステムに 2 つの仮想コアが割り当てられている VMware のような仮想システム内にある場合は、2 つのライセンスが必要となる。

**「登録ユーザー」 (RU) :** 登録ユーザー製品は、ライセンスを使用する頻度に関係なく、一個人のみが使用できる。当該個人がライセンス製品に直接アクセスしているか中間アプリケーションを経由してアクセスしているかに拘わらず、すべての各個人に対してライセンスが必要になる。共有パスワード又はログインアカウントは、以下の特定の製品のライセンス使用



許諾基準に異なる指定がされていない限り、許可されない。お客様は、新規登録ユーザーをその都度、追加及び／又は交代させることができるが、登録ユーザーの合計数がいかなる時点においてもその特定製品における有効ライセンス数を超えてはならない。さらに、仮に、以前登録していたユーザーが登録ユーザーの状況に戻った場合、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、PTCのその時点で有効なレートに従い、PTCに新たにライセンス料を支払わなければならない。

「**デモ及びテスト**」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできない。

「**パッケージ**」(P)：PTC製品パッケージを構成するそれぞれのコンポーネント（構成部品）の使用許諾基準は、当該コンポーネントが別々に使用許諾された場合と同じものとする。但し、それぞれのパッケージのコンポーネントがパッケージのベースシート（主要製品）と共に使用される場合を除くものとする。例えば、Creo Enterprise XE Package にバンドルされた Windchill PDMLink と Windchill ProjectLink の登録ユーザーライセンスは、登録ユーザー基準で使用許諾され、1人のCreoユーザーとの組み合わせで割り当てられなければならない。

「**バンドル**」(B)：PTCの各バンドル製品は、いくつかの異なるPTCの許諾製品が含まれ、バンドルに含まれる当該各許諾製品の使用許諾基準が他の許諾製品と異なる場合がある。

\*\*\*\*\*

## 複数の製品に共通するライセンス制限

サブスクリプションについて：「サブスクリプション」とは、製品名、見積書／製品スケジュール、注文契約書その他の注文書類、及び／又は請求書において規定された期間にわたり有効となるライセンスが含まれたオンプレミスのライセンスタイプであり、かかるライセンスには、当該ライセンス期間中に追加料金の発生しないサポート・サービスが含まれる。

永久ライセンス：PTCでは、ほとんどの製品に永久ライセンスモデルが存在していない。ただし、PTCが現在も永久ライセンスを販売しており、当該製品にPTCがホスティングにより提供するコンポーネント（Creo AR Design Shareなど）が含まれている場合、PTCはいつでも当該ホスティングコンポーネントの提供を中止することができる。

仮想化技術（Virtualization Technology）について：PTCが上記ライセンス方式を行使するため又は当該ライセンス方式の意図する内容を回避するために採用するライセンス制御機能を、仮想化技術によって回避することが可能な場合であっても、当該回避行為は、お客様のライセンス契約違反となる。前述を制限することなく、お客様は、仮想化技術の下で又はそれをおして、指定コンピューターのライセンス（又は「ノード・ロックライセンス」ともいう）をインストール又はアクセスしてはならないものとする。

アップグレード：許諾製品の旧バージョンからのアップグレード版の許諾は、PTCにより確認されたアップグレードとしての適切な旧バージョンを、最初に許諾されていなければならない。また、お客様は、関連するアップグレード版の購入時に当該許諾製品のサポート・サービスの契約が有効な状態でなければならない。アップグレード版をインストールした後は、アップ



グレード版として許諾された当該ソフトウェアに交換又は補完され、お客様はアップグレードを適格と認められる基となった旧バージョンを使用することはできない。

相互運用ツール／ツールキット：PTC の相互運用ツール（例えば、Pro/TOOLKIT、J-Link、Pro/Web.Link、アプリケーション・プログラミング・インターフェース）は、お客様（お客様自身又は第三者の支援により）が、許諾製品をお客様の他のコンピューターシステム及びプログラムとの間で相互運用できるようにする目的にのみ提供される。お客様は、その一部、全部にかかわらず当該相互運用ツールを第三者へ配布してはならない。さらに、当該相互運用ツールを使い、第三者へ配布するための新たな統合プログラムを開発してはならない。

バッチ：ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど）の場合、ライセンスは、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス（直接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問わない）をする個人ごとに必要となる。共通又は共用のログインは、認められない。

インスタンスの定義：「インスタンス」とは、アプリケーションサーバーの展開を意味し、そのすべてが 1 つの物理的な場所と共有データベースに配置される。

## ThingWorx コア製品

ThingWorx コア製品には、(1) ThingWorx Smart Connected 製品モデル、及び (2) ThingWorx Smart Connected Operations モデルというライセンスモデルがあり、各ライセンスモデルの詳細は以下のとおりである。両方のモデルにおいて、以下は許可されない。  
(a) お客様が第三者に使用させることを目的としたアプリケーションを開発するために ThingWorx の許諾製品を使用すること（ThingWorx SCP モデルにおいて、お客様の物理的な製品をインターネットに接続可能にする場合を除く）又は、(b)お客様の顧客の施設及び／又は当該顧客のための第三者の施設のいずれかにおいて、許諾製品をインストールすることをお客様の顧客に許可すること。

ThingWorx 製品は、注文書類又は見積書／製品スケジュールに記載されたお客様の所在地（所在場所）に出荷されるが、お客様は、許諾製品の使用をインストール国に限定することに関するライセンス契約の制限にもかかわらず、適用されるすべての輸出法、制限及び規制を遵守することを条件に、世界中のお客様の拠点で ThingWorx 製品をインストール、操作、及び使用することができるものとする。お客様はさらに、注文書類又は見積書／製品スケジュールに記載されているインストール場所以外の場所での ThingWorx 製品の使用に起因するすべての税金、関税ならびにその他の手数料及び金額に対して責任を負うことに同意するものとする。

\*\*\*\*\*

### ThingWorx Smart Connected Products (“ThingWorx SCP”)

ThingWorx SCP モデルでは、お客様に、お客様の製品に接続するための、及び IoT アプリケーションを組み立て稼働させるための IoT Platform が使用許諾される。ThingWorx SCP モデルにおける各許諾製品のライセンス基盤の詳細は、下表のとおりである。



許諾製品名	使用許諾基準
ThingWorx SCP Platform Edition (1)	SCP
SCP 登録ユーザー (2)	RU
Assets (3)	IoT
ThingWorx Analytics (4)	コア毎
Software Content Management	(下記の注記 1 に定義されているとおり) 生産インスタンスごとにライセンスが必要
Additional Production Limited Instance (5)	SCP
SCP Runtime App (6)	SCP

ThingWorx SCP Platform には、Premium Edition、Professional Edition 及び Enterprise Edition という 3 つの Edition がある。ThingWorx SCP Platform の各 Edition には、本番環境の使用のための 1 インスタンスが含まれ、非本番環境の使用のみであれば無制限に使用できる。ThingWorx SCP Platform の各 Edition には、以下の表のとおり、指定された数の SCP 登録ユーザー、Assets 及び ThingWorx SCP Platform Edition ごとに特有の機能が含まれる。ThingWorx SCP Platform は、お客様の物理的な施設又はお客様が指定するホスティングプロバイダーにインストールすることができる。ThingWorx SCP Platform の各 Edition には “ThingWorx agents” 又は “Edge Microservers” 及び、お客様のランタイムアプリケーションへの接続を追加するためお客様が使用する ThingWorx SDK が含まれる。「ThingWorx エージェント」、「Edge Microservers」及び、ThingWorx SDK で作成されたお客様のアプリケーションは無制限で接続された製品に分配できるが、ThingWorx 製品と合わせての使用に限られる。

	Premium Edition	Professional Edition	Enterprise Edition
Assets (同梱)	50	75	100
SCP 登録ユーザー (同梱分。同梱数を超える場合は別途購入要)	5	5	5
View-Only SCP Users	同梱		
ThingWorx Analytics	入手不能	8 コア	16 コア
ThingWorx Foundation	同梱		
Technical Support	Silver	Gold	Gold (アップグレードとして Gold+ を購入可能)
Software Content Management	入手不能	非同梱	同梱
SCP Accelerator	同梱		

「SCP 登録ユーザー」(IoT)とは、許諾製品を使用してマッシュアップ、アプリケーション及び/又はダッシュボードを開発する権限をシステム管理者から付与された個人による使用のために、ThingWorx Platform に直接又は中間アプリケーションを経由したアクセスを可能にするためのログイン ID をいう。この使用許諾基準は登録ユーザーの使用許諾基準の変形である。ユーザーは、個人を基準として数えるものとし、同時使用を基準としない。

「View-Only SCP Users」とは、許諾製品を使用し、ThingWorx Platform からアウトプットを消費するただに権限を付与されたユーザーをいう。当該ユーザーは、マッシュアップ、アプリケーション若しくはダッシュボードを開発又は修正する権限を



付与されず、また、開発又は修正してはならない。View-Only SCP User はログイン ID を保持することができ、又は、他のシステム又は共有のログイン若しくはスクリーンからデータにアクセスする者（例：サービスデスクの従業員）もユーザーになり得る。View-Only SCP User は制限されず、ThingWorx SCP Platform に含まれる。

「Asset (IoT)」(製品自体又はその他の部分において「デバイス」、「モノ」又は「遠隔装置」と呼ばれる場合もある)とは、感知装置(センサー)、装置(デバイス)、機械、システム、ウェブサービスなどであって、資産(又は許諾製品内において「デバイス」又は「モノ」としてモデル化(表現)及び/又は登録されるもの、又はソフトウェア内で別の資産として取り扱われる場合には、前述の一部として別に定義されるものを意味する。例えば、Asset は、プレスブレーキ、工業用乾燥機、別のコンピューターシステム、又は、それらの機械の中にある個々の部品が、ソフトウェア内で別の資産としてモデル化又は登録される場合などであるが、これらに限定されない。

「Simple Narrow Band Asset」(簡易型ナローバンド Asset) (NB)とは、業界標準の低出力ワイドエリアネットワーク(LPWAN)又は5Gネットワークで運用される Asset クラスであり、ThingWorx から Asset へのリモートアクセス不能、Software Content Management (SCM) 機能がなく、ファイル転送機能がなく、といった制限がある。このタイプのアセットは、接続されていないが ThingWorx で表示されているアセットに使用することもできる。

「ThingWorx Analytics」は、モノのインターネットのための機械学習機能及び他の分析サービスを可能にする。ThingWorx Analytics は、ThingWorx SCP Platform Professional 及び Enterprise Editions とのみ連携して使用することが許諾されている。ThingWorx Analytics は、コア毎にライセンスされる。Analytics Server は、単一のサーバー又は配信モード(distribution mode)で起動することができる。配信モードの場合、ThingWorx 分析コード(例:API インターフェース、analytics workers)を起動させている CPU コアだけがコア毎のライセンスを必要とする。

上表に示される分析計算機能を実行するあらゆるインストール済みのコンポーネントには、当該コンポーネントがインストールされている OS (operating system) が表示する各物理的又は仮想の CPU コア毎に ThingWorx Analytics のコア毎のライセンスが必要となる。お客様が ThingWorx Analytics の付属のコアの計算能力を超えた場合、お客様は、計算機能を提供するインスタンスにより実行するコンポーネントの追加の計算容量のための追加のコアライセンスを購入することができる。

Additional Production Limited Instance は、1つの物理的なロケーションには存在しない共有データベースに対応している複数のサーバーに1つのインスタンスを配置することを可能にする。Additional Production Limited Instance のライセンスは、前述の配置されていないサーバー毎に必要な。ただし、複数のデータベースがある場合には、インスタンスごとに1つの SCP Platform Edition を追加購入しなければならない。

「SCP ランタイムライセンス」とは、お客様がリモートデバイスでお客様のアプリケーション又はソリューションを実行できるようにするための ThingWorx プラットフォームライセンスをいう。このランタイムライセンスにより、お客様のアプリケーション又はソリューションをリモートで動作させることができるが、フィールドでのそれ以上の開発は制限される。

\*\*\*\*\*

#### ThingWorx Smart Connected Operations (“ThingWorx SCO”)

ThingWorx SCO モデルでは、お客様の製品に関連した、お客様の社内の生産システムや製造プロセス、製造オペレーションなどに接続して、それをモニタリングするための IoT Platform が使用許諾される。SCO ソリューションにはいくつかのモデルがあ



り、これらは Site（以下に定義）ごとに販売され、加えて SCO 登録ユーザーにも販売される。お客様は、購入した Site ごとに、複数の本番及び／又は非本番環境の ThingWorx サーバーを配置することができる。

## SCO Solutions Models

### SCO ソリューション モデルに適用される定義

- 「Custom Application」（カスタム アプリケーション）は、(i) PTC が提供する標準アプリケーションのカスタマイズ、又は (ii) PTC によって作成されないソフトウェアアプリケーションであり、お客様のニーズと要件に対応しながらエンドユーザー向けにビジネスの使用事例として構築されたものをいう。Custom Application は、ThingWorx プラットフォーム技術を用いて開発され、バックエンドコンポーネント、サービス及びマッシュアップの組み合わせにより構成される。
- 「SCO 登録ユーザー」とは、ThingWorx Platform に直接アクセスするか、又は PTC、お客様、又はパートナーがプラットフォーム上で開発した中間アプリケーションを経由してアクセスする人をいう。ThingWorx Platform 又は中間アプリケーションを表示又はアクセスするすべてのユーザーは、ログイン ID が一意のユーザーに関連付けられているか、アクセスするデバイスに対して汎用的であるかに拘わらず、登録ユーザーライセンスが必要となる。Standard 及び Premium の SCO 登録ユーザーは、購入した Site ごとに 1 つのみ ThingWorx アプリケーションにアクセスできる。各 Site の追加アプリケーションごとに、追加のユーザーライセンスが必要となる。
- 「SCO Solutions Enterprise User」は、Site ごとに SCO Solutions Enterprise バンドルで購入した場合、複数のアプリケーションにアクセスできるように SCO 登録ユーザーを拡張する。
- 「SCO Connected User」とは、SCO アプリケーション内の作業指示書及び関連データ（文書又は図面）を閲覧する目的で Windchill に対してビューのみのアクセス権を持つ登録ユーザーをいう。このライセンスは、Windchill の一般的なビューアクセスや ThingWorx Navigate View アプリのインストール及び使用権限をユーザーに付与するものではない。
- 「Site」（サイト）とは、ソフトウェアが使用される単一のお客様の建物又は接続された一連の建物を意味する。接続された建物の場合、業務自体又は材料のプロセスフローの間に物理的な障壁がないことが必要である。

SCO Solutions Standard Model - SCO Solutions Standard Model では、お客様は、PTC が提供するアプリケーションに関連してのみ ThingWorx を使用でき、制限されることなく、お客様が Custom Application を開発したりすることはできない。お客様は、SCO Solutions Standard Model の中にある out-of-the-box（既存）アプリケーション（ソリューション）で提供されるマッシュアップを編集することができるが、（直接又は既存のマッシュアップを過度に編集することによって）新しいマッシュアップを作成することは禁止される。お客様は、SCO Solutions Standard Model のアプリケーションを他のシステムと統合することができるが、読み取り専用の目的に限る。PTC の SCO Solutions Standard Model の使用許諾基準では、アプリケーションが展開される Site ごとの料金が必要になる。さらに、特有の各アプリケーションにつき権利のあるユーザー数を超える場合には、各 SCO 登録ユーザーに対して料金が必要である。SCO Solutions Standard Model には、以下の表に示す機能／権利が付属されている。

SCO Solutions Premium Model - PTC の SCO Solutions Premium Model では、お客様が ThingWorx プラットフォームを使用して Custom Application を作成し、SCO Solutions Standard Model のアプリケーションを拡張／カスタマイズすることができる。SCO Solutions Standard Model のアプリケーションは、各 Site が SCO Solutions Premium Model を購入するための前提条



件になる。PTC の SCO Solutions Premium Model のライセンスは、Custom Application を展開する Site ごとに料金が発生する。SCO Solutions Premium Model のユーザーは、SCO Solutions Standard Model に加えて、2つの別のアプリケーションとして購入する必要がある。SCO Solutions Premium Model には、以下の表に示す機能／権利が付属されている。

SCO Solutions Enterprise Model - PTC の SCO Solutions Enterprise Model では、お客様は購入時に利用可能なすべての ThingWorx の標準アプリケーション（すなわち DPM、AMU、CWC、RTPPM）に特定の Site でアクセスし、ThingWorx を使用して SCO 目的の Custom Application をその Site において開発することができる。PTC の SCO Solutions Enterprise Model の使用許諾基準は、アプリケーションを展開する Site ごとに料金が発生する。SCO Solutions Enterprise Model ユーザーは、1つの Site で Custom Application を含むすべてのアプリケーションにアクセスすることができる。複数の Site を購入した場合、ユーザーを購入した任意の Site に割り当てることができる。SCO Solutions Enterprise Model には、以下の表に示す機能／権利が付属されている。

SCO Solutions Custom Enterprise Model - PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model では、お客様が ThingWorx を使用して、Site において SCO 目的の Custom Application を開発することができる。Solutions Custom Enterprise モデルには、SCO Solutions Standard Model のアプリケーションへのアクセスは含まれない。PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model の使用許諾基準は、アプリケーションを展開する Site ごとに料金が発生する。SCO Solutions Custom Enterprise Model のユーザーは、1つの Site のすべての Custom Application にアクセスすることができる。複数の Site を購入した場合、ユーザーを購入した Site に割り当てることができる。SCO Solutions Custom Enterprise Model には、以下の表で指定された機能／権利が付属されている。

	SCO Standard (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	SCO Solutions Premium Edition	SCO Solutions Enterprise Edition	SCO Solutions Custom Enterprise Edition
前提条件	なし	SCO Standard (Site 毎に最低 1 アプリ)	なし	
SCO 登録ユーザー (同梱分。同梱数を超える場合は別途購入要)	アプリケーションごとに 25。当該アプリケーションのみに使用できる。	5 (ただし管理目的での使用のみ可能で、Custom Application にはアクセスできない。)	Site 毎に 100 同梱	
Custom Application included	該当なし	無制限に Custom Applications 作成可能	無制限に Custom Applications 作成可能	
ThingWorx Foundation	各 Edition に含まれる			
ThingWorx Apps (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	購入したアプリケーションへのアクセス (1 Site 毎)	該当なし	すべてのアプリ同梱	別途購入要
ThingWorx Analytics (1)	アプリの要求に応じて	同梱 (32 コア)	同梱 (64 コア)	
ThingWorx Building Blocks	なし	同梱		
ThingWorx Kepware Server (2)	一部の ThingWorx SCO ソリューションには Kepware の権利が含まれる。下記の注記 (2)を参照。			
Technical Support	Gold (アップグレードとして Gold+を購入可能)			



	SCO Standard (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	SCO Solutions Premium Edition	SCO Solutions Enterprise Edition	SCO Solutions Custom Enterprise Edition
Software Management Content	なし	別途購入要		

- (1) ThingWorx Analytics - 上表において参照される“ThingWorx Analytics” ソフトウェアは、モノのインターネットのための機械学習機能及び他の分析サービスを可能にする。ThingWorx Analytics は、コア毎にライセンスされる。Analytics Server は、単一のサーバー又は配信モード（distribution mode）で起動することができる。配信モードの場合、ThingWorx 分析 コード（例：API インターフェース、analytics workers）を起動させている CPU コアだけがコア毎のライセンスを必要とする。上表に示される分析計算機能を実行するあらゆるインストール済みのコンポーネントには、当該コンポーネントがインストールされている OS（operating system）が表示する各物理的又は仮想の CPU コア毎に ThingWorx Analytics のコア毎のライセンスが必要となる。お客様が ThingWorx Analytics の付属のコアの計算能力を超えた場合、お客様は、計算機能を提供するインスタンスにより実行するコンポーネントの追加の計算容量のための追加のコアライセンスを購入することができる。
- (2) Kepware を含む ThingWorx SCO バンドルの場合、上記のすべての SCO ソリューションモデルに含まれる Kepware の権利は、ThingWorx SCO ソリューションでの使用に限定される。SCO ソリューション モデルに含まれる Kepware ソフトウェアを単体で使用することはできない。お客様は、他の用途のためにエンタプライズ Kepware 接続パッケージを購入することができる。

\*\*\*\*\*

## Kepware 及びその他の ThingWorx 製品

### **Kepware KepServerEX、ThingWorx Kepware Server（旧 ThingWorx Industrial Connectivity）、及び LinkMaster 及び RedundancyMaster**

これらの製品は、上記の「共通ライセンス基盤の記述」の箇所において概説されている指定コンピューター (DC) という使用許諾基準に該当する。これらの製品は、注文書類又は見積書／製品スケジュールに記載されたお客様の所在地（所在場所）に出荷されるが、お客様は、許諾製品の使用をインストール国に限定することに関するライセンス契約の制限にもかかわらず、適用されるすべての輸出法、制限及び規制を遵守することを条件に、世界中のお客様の拠点でこれらの製品をインストール、操作、及び使用することができるものとする。お客様はさらに、注文書類又は見積書／製品スケジュールに記載されているインストール場所以外の場所でのこれらの製品の使用に起因するすべての税金、関税ならびにその他の手数料及び金額に対して責任を負うことに同意するものとする。

**ThingWorx Single Factory License** ライセンスは、Site ごとに販売されている ThingWorx Kepware Server ライセンスにバンドルされている（SCO を参照）。指定コンピューターライセンスの数は製品説明にあるとおりに特定される。これらのライセンスには、Kepware のダウンロードページで入手可能な Kepware ドライバーとプラグインの完全な一式へのアクセスが付属しており、単一の Site をサポートするために使用されるものとする。



**ThingWorx Kepware Edge** ライセンスは、「Connected Asset」（コネクテッドアセット）を基準として販売され、製品説明で特定される指定された数のタグ（基本的にはデータ項目）に制限される。Kepware Edge ライセンスには、単一のリモートデバイス又はゲートウェイを ThingWorx SCP プラットフォームに接続する接続レイヤーが含まれる。

### ThingWorx Machine Builder (MB) Bundles

ThingWorx Machine Builder Bundle (MB) は、MB のお客様がお客様の製品を接続し、エコシステム全体で共有できる IoT アプリケーションを作成するための ThingWorx プラットフォームのライセンスを付与する ThingWorx バンドルである。MB バンドルの許諾製品ごとの使用許諾基準は、次の表で詳しく説明される。

	MB Starter	MB Tier 1	MB Tier 2	MB Tier 3
Asset with ThingWorx Kepware Edge - SCP Connectivity per Asset (1)	25	250	1000	2000
SCP 登録ユーザー	5	5	5	5
View-Only SCP Users	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Premium	同梱	同梱	同梱	同梱
Technical Support	Gold（アップグレードとして Gold+を購入可能）			
ThingWorx Analytics	別途購入要	別途購入要	別途購入要	別途購入要
Software Content Management	別途購入要	別途購入要	別途購入要	別途購入要
Asset Advisor	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Kepware Edge SaaS Only	25	250	1000	2000
Vuforia Chalk（5 ユーザー） Hosted	同梱	同梱	同梱	同梱

- (1) SCP/Machine Builder Bundle モデルに含まれる Kepware の権利は、ThingWorx SCP/MBB ソリューションでの使用に限定され、ThingWorx との接続のみを提供する。SCO ソリューションモデルに含まれる Kepware ソフトウェアを単体で使用することはできない。お客様は、他の用途のためにエンタプライズ Kepware 接続パッケージを購入することができる。